



2018-19
国際ロータリーテーマ



インスピレーションになろう

Rotary パリー・ラシン



2018～2019年度 標語
人を大切に、人に奉仕を

諫早西ロータリークラブ
会長 草野 恵介



第1622例会 2019年6月5日例会記録 NO.45 天候 晴

【本 日】会員数 45名 出席 38名 欠席 5名 免除 2名 (出席 0名) 出席率 88.37%
【5/22】会員数 45名 出席 37名 欠席 6名 (MU 7名) 免除 2名 出席率 86.05%

◆来訪者



第8グループガバナー補佐

諫早多良見ロータリークラブ 桑田 隆朗 様

会長の時間

今年、天安門事件が発生して30年目になります。その当時の天安門広場などの現場の様子をとらえた約2,000枚に上る写真が新たに見つかりました。中国政府は事件について詳細な経緯を明らかにしておらず、6月4日で発生から30年を迎えて事件の風化も進んでおります。これだけの規模で新たな記録が公開されるのは異例で、事件の過程を克明に記した貴重な資料といえます。

写真を撮影したのは、北京市出身で米国在住の劉建(51)さんという方です。89年4月16日ごろから、武力弾



圧が起きた6月4日までの約50日間、大勢の学生で埋め尽くされた天安門広場や、銃を掲げた兵士らに語りかける市民、当局との衝突で負傷したとみられる人を運ぶ人たちが、カラーと白黒で鮮明に写されているそうです。

当時学生で写真が趣味だった劉さんは自転車で天安門広場や北京大に通い、民主化を求める学生や市民、労働者らの表情をカメラに収めました。「中国で起きた歴史的な出来事を記録しようと夢中だった。」そうです。しかし当局は、6月3日夜に制圧を開始しました。

劉さんは、「北京市内に厳戒令が敷かれても、軍が市民に向けて発砲するとは思ってもみなかった。」と振り返っています。事件から30年が経ち「民主化が実現しないどころか、事件を知らない若者が増えていることに驚きを感じる」と指摘しており、「時代の目撃者として後世に伝える義務

会 長／草野 恵介 幹 事／原田 典範 創立日／昭和60年2月20日 認証日／昭和60年3月5日
例会場／平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL (0957) 24-3907
事務局／諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL (0957) 22-3323
会報委員／塚原浩三・清水 淳・久保泰正・立野 守・古賀秀次
HP/<http://isahaya-west.com> E-mail/info@isahaya-west.com

がある」との思いで、写真の公開に踏み切ったそうです。

民主化でない国では民主化運動があり、時は違うのですが、民主国家の日本では学生達の核丸派、中核派等の赤になる運動が起こりました。大学生、若者のパワーは凄いものでした。佐世保にエンタープライズが入港した時は、学生達が列車に乗って、数百人駆け付けた時は市民が大喜びでした。今の若い人、学生にはもうパワーはないのでしょうか？

赤軍派と革命左派が合わさって連合赤軍となり、多数いましたが、最終的には5人しか残っておらず、残った5人も病死したり、捕まったりしました。その後、赤軍派だった人がTVに出ていましたが、20～30代の時、刑務所に入って「やっと当り前の考えが出来てきた」と言っていました。生き残った人達は今ではいい年になって農業の役員になってたり、スナックのマスターになってたりしていました。最近、中核派の幹部がアジトのアパートで捕まっていました。まだ、いるんですね、でもいい年でしたよ。以上、会長の時間を終ります。

幹 事 報 告



【例会変更】

※諫早ロータリークラブより

日 時：令和元年6月28日(金) 18:30～

場 所：水月楼

※最終例会のため

【お知らせ】

※国際ロータリー日本事務局より

6月ロータリーレート 1ドル=110円

※ガバナーエレクト 事務所より

「2019-20年度 マイロータリー・ロータリークラブセントラルセミナー開催のご案内」

日 時：2019年7月12日(金)

14:00受付

14:30開会

16:30閉会予定

会 場：L&Lホテルセンリュウ

出席予定者：ガバナーエレクト、ガバナーノミニー、ガバナーノミニーデジグネート、次年度ガバナー補佐、次年度クラブ会長及び又はクラブ幹事、次年度クラブマイロータリー又はセントラル担当委員長、クラブ事務局員、次年度地区公共イメージ委員、次年度地区幹事、次々年度地区幹事、次年度地区担当副幹事

※地区大会事務局より

「地区大会事務局開設のご案内」

【2018-2019 年度ガバナー補佐ご挨拶】



桑田 隆朗ガバナー補佐 様

【御見舞】



宮本 会員

【6月誕生日祝】



野中 英己 君	昭和 22 年 6 月 3 日
森 由有 君	昭和 21 年 6 月 7 日
永井 栄次 君	昭和 31 年 6 月 20 日

【 6月結婚記念日祝】



宮本 峻光 君 昭和 44 年 6 月 1 日
 毎熊正太郎 君 平成 6 年 6 月 5 日
 古賀 秀次 君 昭和 63 年 6 月 5 日
 平 武 君 昭和 45 年 6 月 26 日

【 ウエスト 会】



江嶋 会員



桑田 隆朗君（諫早多良見 RC）：平成～令和をまたにかけたガバナー補佐の仕事が無事に終われそうです。諫早西 RC の皆様にお礼申し上げます。

草野 恵介君：桑田ガバナー補佐、ようこそいらっしゃいました。一年間お疲れ様でした。

原田 典範君：桑田ガバナー補佐、一年間ご苦労様でした。

佐藤 幸雄君：5 月 31 日で現役を引退しました。40 年 4ヶ月の長い間お世話になりました。後輩にも私同様に宜しくお願いします。

古賀 秀次君：結婚して 30 年位となりました。もう少し頑張ります。

宮本 峻光君：まだ動作は少し不自由ですが、リハビリ更に頑張ります。金婚式を迎えました。次は親が果たせなかったダイヤモンド婚を目指し精進します。



平 武君：49回目の結婚記念日です。近所では、評判のおしどり夫婦とうわさされています。

永井 栄次君：誕生記念ありがとうございます。63歳になります。今年から趣味をゴルフからガーデニングに変えました。

日高 正朗君：先日のゴルフ、お疲れ様でした。永井君ガンバレルーヤには参りました！！

木村 暢義君：遠征お疲れ様でした。古賀シングル、江嶋君、ありがとうございました。

野中 英己君：6 月 3 日で 72 歳になりました。心も体も元気です。宜しくお願い致します。

早田 和彦君：宜しくお願いします。

荒木賢治郎君：今日も皆様に会えて幸せです。

塚原 浩三君：特別になにもありませんけど、6月の最初という事でニコニコします。

森 由有君：誕生記念有難うございます。73歳になります。今後共宜しくお付き合いお願いします。

毎熊正太郎君：結婚祝有難うございます。

南部 仁君：皆さん、お元気ですかー？そろそろ熱中症のシーズンに入ってきました。体調に気を付けて生き抜きましょう！！

福田 和幸君：ニコニコも残り1ヶ月です。宜しくお願いします！！

高瀬 善久君：今年度もあと少しです。スマイルご協力お願いします。今日は早退します。

本日の合計(6/5)	累 計 額
¥ 6 2,0 0 0	¥ 1 4 6 3,0 1 0

【2019-20年度 RI 会長のテーマ】

テーマ

『ロータリーは世界をつなぐ』

2019-2020 年度 RI 会長
マーク・ダニエル・
マローニー



マーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー会長エレクトは、より力強いロータリーを築くためのビジョンを発表し、地域社会とのつながりを広げるために、革新的な会員モデルを導入していくことをクラブのリーダーに呼びかけました。

2019-20年度のテーマ、「ロータリーは世界をつなぐ」を次期地区ガバナーに発表するマーク・ダニエル・マローニー会長エレクト（米国カリフォルニア州サンディエゴにて）ジケーター・ロータリークラブ（米国アラバマ州）会員のマローニー会長エレクトは1月14日（月）、米国カリフォルニア州サンディエゴで開催中の次期ガバナーエレクトへの研修行事である国際協議会で、2019-20年度の会長テーマ、「ロータリーは世界をつなぐ」を発表しました。

「最初の強調事項はロータリーを成長させることです。私たちの奉仕活動やプロジェクトのインパクトを成長させること、また、最も重要なのは、これからより多くのことを達成するために、会員を増やすことです」とマローニー会長エレクトは述べました。

ロータリーでの経験の中核にあるのは「つながり」であるとマローニー会長エレクトは信じています。「ロータリーで私たちは、お互いの違いを超え、深く、意義あるかたちでお互いにつながることができます」とマローニー会長エレクト。「ロータリーは、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、職業上の機会、私たちの支援を必要とする人たちとのつながりをもたらしてくれます」

さらに、多様な会員から成る会員増強委員会を設立することで、現在クラブに反映されていない地域社会の人たちを特定するようすべてのロータリークラブとローターアクトクラブに促しました。

また、「ユニークなネットワークを駆使するロータリーを通じて私たちは、人類の素晴らしい多様性とともに、共通の目的において永く続く深い絆を創り出します。世界がこれまで以上に分断する今日、私たち全員をつなぐのはロータリーです」と続けました。

会長エレクトはさらに、忙しい職業人や家族の都合でも忙しい会員にもリーダーの役割を果たしてもらえよう、さまざまな例会の内容や奉仕プロジェクトの機会を提供するよう促しました。

「ロータリーでの活動と家族との時間が競合せず、互いに補完し合うような文化をつくっていく必要があります」と会長エレクト。

「これには、現在の文化を変えるための現実的なステップを取ることで、つまり、期待値を現実的に受け止め、スケジュール作りを熟考し、すべてのレベルのロータリー行事に子どもを受け入れることを意味します」

【国連との関係】

2019-20年度、ロータリーは世界中で会長主催会議を主催します。この焦点は、国連との関係と、多くのロータリー奉仕プロジェクトが支援する国連の持続可能な開発目標です。詳しい情報は、7月に発表されます。

2020年、国連はその創設と平和の推進という使命に基づいた活動の75周年を迎えます。ロータリーは、国連憲章につながった1945年のサンフランシスコ会議で相談役を務めるために米国が招聘した42の組織の一つでした。それから何十年もの間、ロータリーは世界中の人道課題に取り組むため、国連と共に活動してきました。国連は今日、ロータリーに対し、非政府組織の相談役に対して与える中で最高の立場を認めています。

マローニー会長エレクトは次のように述べました。「ロータリーは、より健康で、平和で、持続可能な世界に対する国連の継続したコミットメントを共有しています。また、ロータリーはほかの組織にはかなわないものを提供します。それはつまり、奉仕と平和という精神の下に世界中の人びとがつながることができ、目標に向かって意義ある行動を起こすことのできるロータリーのインフラです」